

PRIMERGY CX250 S1

システムイベントログ表示手順書

本稿では、PRIMERGY CX250 S1 に搭載された BMC(Baseboard Management Controller)の Web インターフェースを使用して障害発生時の復旧に役立つ機能を抜粋して説明しています。

富士通株式会社
2012 年 5 月

1 概要

本サーバに搭載された BMC の機能により、本体装置内の SEL(System Event Log)の参照が、Web インターフェースを介して可能となります。これらの設定を事前に実施しておくことにより、万が一の障害発生時には、SEL を参照する事によって、速やかな復旧に役立てることができます。

1.1 対象装置

PRIMERGY CX250 S1

重要

➤ 本書の手順には、『PRIMERGY CX250 S1 サーバノードオペレーティングマニュアル』と『PRIMERGY CX250 S1 用 D3196 BIOS セットアップユーティリティリファレンスマニュアル』(ServerView Suite DVD 2 の Industry Standard Servers – PRIMERGY CX Servers と System Boards and BIOS - Software)を参照してください。

2 事前に準備するもの

2.1 クライアント端末(パソコンなど)

クライアント端末には一般的な Web ブラウザが動作する環境が必要です。また、通信インターフェースとして LAN ポートが必要になります。

2.2 LAN ケーブル

クライアント端末と対象装置のマネージメント LAN ポートを接続するのに必要となります。

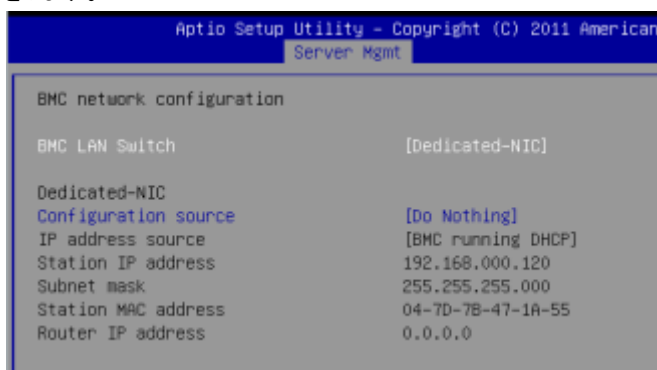
3 接続方法

『PRIMERGY CX250 S1 サーバノードオペレーティングマニュアル』を参照し、クライアント端末と対象装置のマネージメント LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。

4 BMC WEB インターフェースへのアクセス手順

4.1 マネージメント LAN ポートの準備

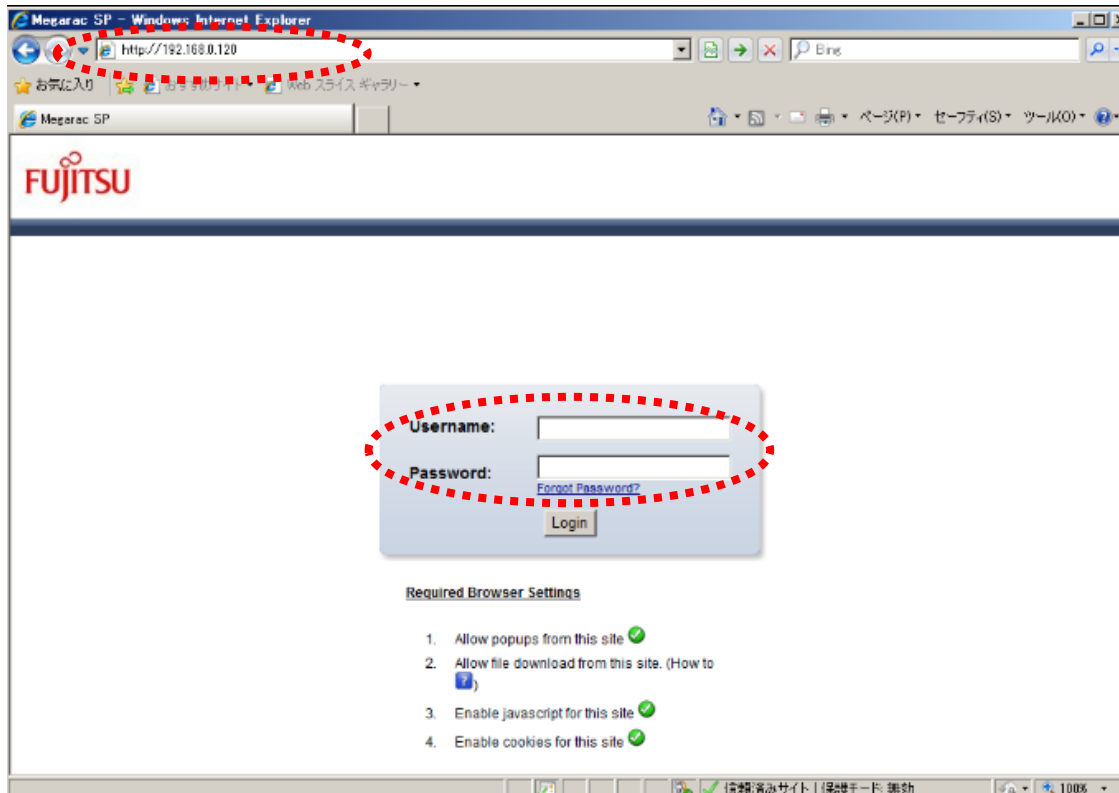
BIOS セットアップユーティリティを起動して、「Server Mgmt」-「BMC network configuration」メニューで、マネージメント LAN ポートの設定(IP アドレス等)をします。



4.2 BMC WEB インターフェースに login する

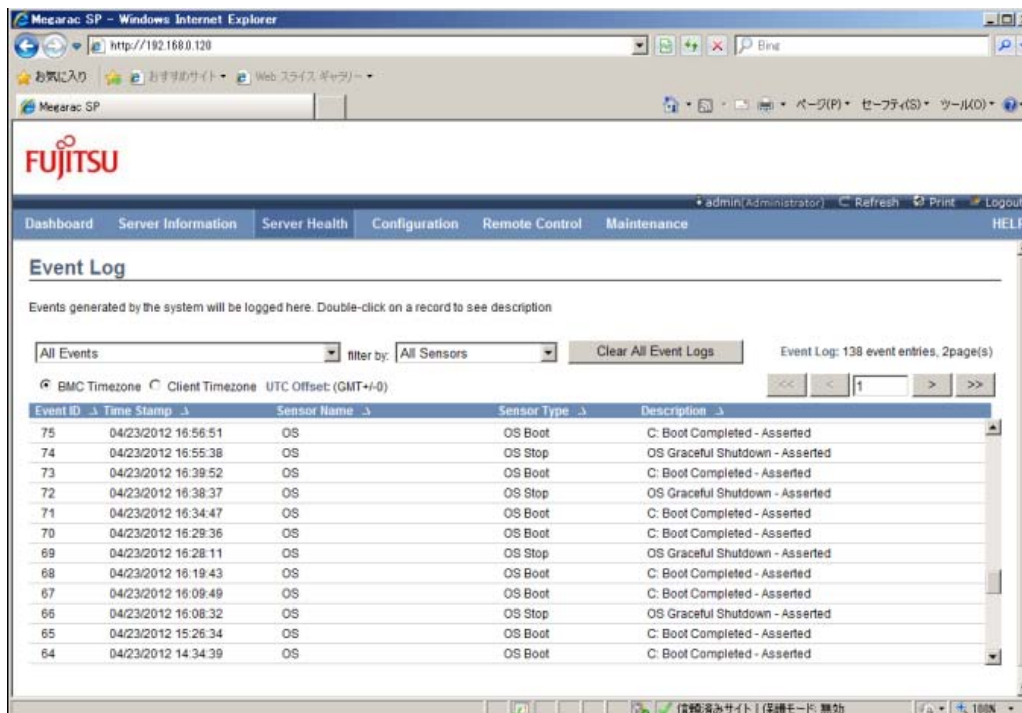
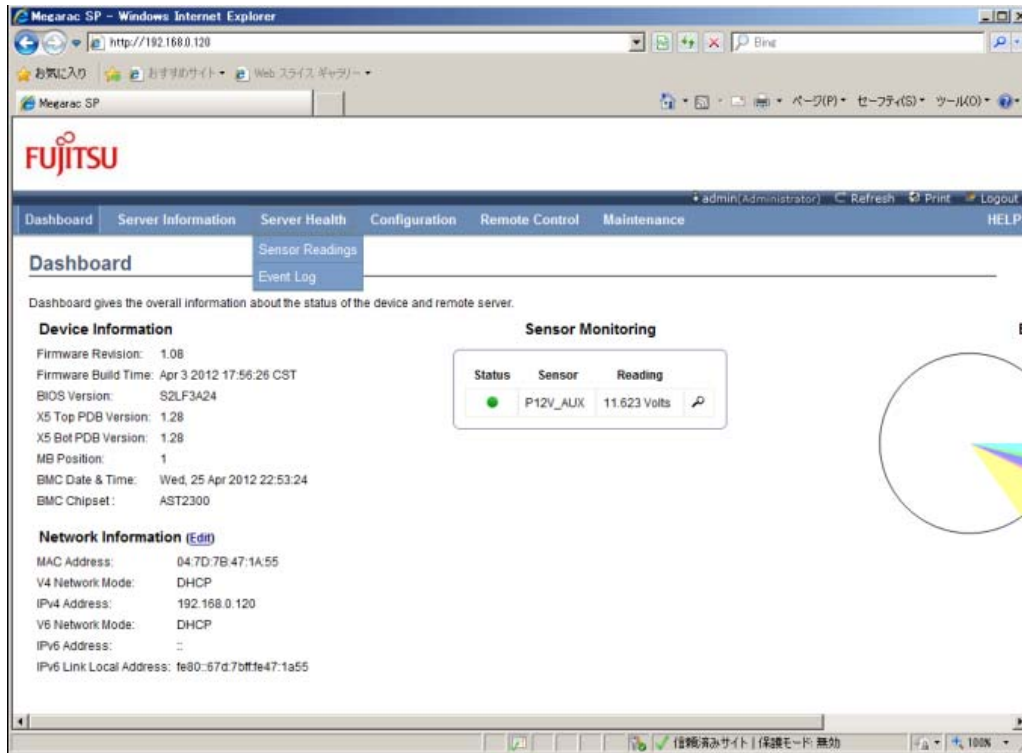
1. クライアント端末から Web ブラウザを起動します。マネージメント LAN の IP アドレスを入力し、ログイン画面を表示させます。
2. ユーザー名、パスワードを入力し、ログインします。

デフォルト設定 (Username: admin Password: admin)



5 SEL の表示手順

5.1 「Server Health」-「Event Log」メニューをクリックすると、システムイベントログが表示されます。



以上